



2022年11月1日

沖縄電力株式会社

2022年度 第2四半期決算について

1. 販売の状況

当第2四半期の販売電力量は、電灯については、他事業者への契約切り替えによる需要減があったものの、夏場の気温が前年に比べ高めに推移したことなどによる需要増により、前年同期並みとなりました。電力については、新型コロナウイルスの影響が弱まったことによる需要増などにより、前年同期を上回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ1.4%増の38億77百万kWhとなりました。

2. 収支の状況

当第2四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、燃料費調整制度の影響や他社販売電力料などの増加があり、売上高（営業収益）は前年同期に比べ309億55百万円増（35.3%増）の1,187億38百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料価格高騰に伴う燃料費や他社購入電力料などの増加があり、営業費用は前年同期に比べ586億29百万円増（71.0%増）の1,412億56百万円となりました。

電気事業において、燃料価格高騰に伴う費用増を電灯電力料に反映できていない部分があるため、営業損益は225億18百万円の損失、営業外損益を含めた経常損益は224億73百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は168億19百万円の損失となりました。

3. 連結業績予想

2022年度通期の連結業績予想については、収入面では、電気事業において、販売電力量の増加に伴う電灯電力料の増加や他社販売電力料の増加などにより、売上高は前回発表（2022年7月29日）より40億円増（1.8%増）の2,230億円を見込んでおります。

一方、支出面では、電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの増加などにより、営業費用は前回発表より107億円増（4.1%増）の2,695億円を見込んでおります。

電気事業において、円安の進行に伴う費用増を電灯電力料に十分に反映できていないことから、営業損益は67億円悪化し465億円の損失、営業外損益を含めた経常損益は70億円悪化し470億円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は108億円悪化し416億円の損失を見込んでおります。

別紙1：決算の概要

別紙2：業績予想の修正に関するお知らせ

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2021 年度 第 2 四半期累計 (実績)	2022 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	1,579	1,580	+1	+0.1%
電 力	2,244	2,297	+53	+2.3%
合 計	3,823	3,877	+54	+1.4%

■連結経営成績

(単位：百万円)

	2021 年度 第 2 四半期累計 (実績)	2022 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	87,782	118,738	+30,955	+35.3%
営 業 利 益	5,155	△22,518	△27,674	—
経 常 利 益	5,074	△22,473	△27,548	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,847	△16,819	△20,667	—

■連結業績予想

(単位：百万円)

	2022 年度通期 前回発表予想数値 (7 月公表)	2022 年度通期 今回発表予想数値	増減 (対 7 月公表)	2021 年度 実績
売 上 高	219,000	223,000	+4,000	176,232
営 業 利 益	△39,800	△46,500	△6,700	2,810
経 常 利 益	△40,000	△47,000	△7,000	2,717
親会社株主に帰属する 当期純利益	△30,800	△41,600	△10,800	1,959



2022年11月1日

各 位

会 社 名 沖縄電力株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 本永 浩之
 (コード：9511、東証プライム、福証)
 問合せ先 経理部予算財務グループ長 安室 朝史
 (TEL 098-877-2341)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年7月29日に公表しておりました2023年3月期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	219,000	△39,800	△40,000	△30,800	△567.10
今回修正予想(B)	223,000	△46,500	△47,000	△41,600	△765.95
増減額(B-A)	4,000	△6,700	△7,000	△10,800	
増減率(%)	1.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	176,232	2,810	2,717	1,959	36.05

(2) 2023年3月期 個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	208,600	△41,300	△41,500	△31,700	△583.67
今回修正予想(B)	212,600	△48,000	△48,500	△42,500	△782.52
増減額(B-A)	4,000	△6,700	△7,000	△10,800	
増減率(%)	1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	168,078	465	500	694	12.77

(3) 修正の理由

売上高については、以下の要因等により、前回発表を上回る見込みです。

- ・電気事業において、販売電力量の増加に伴う電灯電力料の増加や他社販売電力料の増

利益については、以下の要因等により、前回発表を下回る見込みです。

- ・電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの増
- ・電気事業において、円安の進行に伴う費用増を電灯電力料に十分に反映できていないことから、収支が悪化する見通し

なお、配当予想の修正はございません。

[業績予想の主要諸元(通期)]

項目		前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減(B-A)
販売電力量	(百万kWh)	6,887 程度	7,038 程度	151 程度
原油CIF価格	(\$/bbl)	110 程度	101 程度	△9 程度
石炭CIF価格	(\$/t)	343 程度	351 程度	8 程度
為替レート	(円/\$)	133 程度	138 程度	5 程度

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上